

2017年度 国際基督教大学 生涯学習講座

No.	講座名	開講期間	講師	講義内容
1	ギリシア英雄叙事詩 ホメロス『イリアス』を読む	4月～2月までの 全10回(第2水曜) (5月は第3水曜) 14時-17時00分	川島 重成 (名誉教授)	『イリアス』は紀元前8世紀にホメロスによって完成されたとされる、トロイア戦争をめぐるギリシア最古の絢爛たる英雄叙事詩です。そこには、「武士の勲」、英雄たちの生と死の諸相が、不死なるオリンポスの神々とのコントラストの中に美しく謳いあげられています。(以下省略)
2	ICUキャンパス自然観察教室	第1回6月2日(金) 第2回11月30日(木) 第3回2月15日(木) 10～12時	上遠 岳彦 (本学講師) 多田 多恵子 (非常勤講師)	緑豊かなキャンパスの中でも特に自然度の高い雑木林や湧水地を散策し、植物や野鳥、昆虫などの生態を観察する。虫に刺されにくい服装、歩きやすい靴、帽子を着用し、あれば双眼鏡を持参。雨天時は室内講義とする。
3	和太鼓ワークショップ	6月27(火)・28日(水) 10時-12時	三橋 良子 (元教員)	和太鼓の演奏を通して、身体意識を高め、リズムを共有する楽しみを経験する。かならず運動着で参加してください。はだし、または上履き(運動靴)、タオル、スポーツ飲料は各自用意してください。
4	フランス語とフランス映画の魅力	第1回 6月13日(火)・20日(火)・27日(火) 第2回 11月14日(火)、21日(火)、28日(火) 13時-16時	青井 明 (名誉教授)	この講座の目的は、フランス映画の分析を通して、フランス語にも親しんでいただくことです。はじめに映画を上映(日本語字幕付き)し、10～15分の休憩のあと、1時間の講義を行います。
5	Part 1 Light and Shadows in Japan's Modern Transformation 日本の文明開化の光と影	5月12日(金) 5月19日(金) 5月26日(金) 10-12時	STEELE, M. William (名誉教授)	Part 1 This section will examine the introduction of Western things and ideas in the period immediately after the Meiji Restoration of 1868. The classes will examine Japan's so-called bunmei kaika (civilization and enlightenment) from three different viewpoints. May 12: Government Encouragement of Westernization May 19: Fukuzawa Yukichi and his "Encouragement of Learning" (学問の進め) May 26: Critics of Japan's Westernization
6	Part 2 Japan becomes a Great Power 大国日本の登場	6月9日(金) 6月16日(金) 6月23日(金) 10-12時	STEELE, M. William (名誉教授)	Part 2 This section will examine contradictory views of Japan's achievement of Great Power status at the beginning of the 20th century. June 9: Tokutomi Soho and the Sino Japanese War June 16: The Anglo-Japanese Alliance and Popular Nationalism June 23: Okakura Kakuzo and the Russo-Japanese War
7	Part 3 Taisho Modernism: Where is Japan Going? 大正モダン: 日本が行くえ	9月20日(水) 9月27日(水) 10月4日(水) 10-12時	STEELE, M. William (名誉教授)	Part 3 This section takes a new look at the period often known as "Taisho Democracy." During the 1920s, many people began to question what it meant to be modern. Some people embraced modernity, but others rejected it. September 20: Kume Kunitake and the Great War (WWI) September 27: The Great Kanto Earthquake: Rebuilding Tokyo October 4: From Taisho to Showa: Contradictory Trends

8	Part 4 Japan at War 戦間日本	10月18日(水) 10月25日(水) 11月1日(水) 10-12時	STEELE,M. William (名誉教授)	Part 4 Japan was a society at war between 1931 and 1945. This section will examine the idea and reality of Japan as a military garrison state as well as look at areas of resistance to military rule. October 18: Ishihara Kanji and Pan-Asianism October 25: Media (radio, newspapers, books, and film) and the War Years November 1: Nakajima Chikuhei: A Strategy for Certain Victory
9	古代人の食卓と暮らし	5月20日(土) 10時-13時	堀内 晶子 (元教員) 林 徹 (講師)	前半・湯浅八郎記念館にて 東京西部の野川流域に位置しているICUの敷地内で発掘された旧石器時代の石器類および縄文時代の土器、石器、装身具等の考古展示を見ながら当時の生活について学びます。また化学分析を通して、新たに見えるようになった古代人の食生活に迫ります。 後半・キャンピンググラウンドにて 縄文なべ。土器を使って焚き火で調理し、古代の食事を体験します。 どんな味になるのか、お楽しみです。